

来館の 目的

全国各地から来館、特に多いのは首都圏から 「日本列島のできかたがわかる」として人気

ジオパーク学習センターには、1年中、全国各地からジオファンが来館しています。県内の他、県外の地域別では首都圏からの来館者が多いのが特徴です。来館の目的は、日本列島のできかたがわかる、地層について学べる、火山活動の様子がわかる、様々な岩石に触れることができるなど様々ですが、特に日本列島のできかたとそれに併せてそれぞれの時代の模式的な地層が学べるということで人気があります。中には男鹿半島・大潟ジオパークについて紹介している書籍を持参して館内を回遊する方もいます。学習センターでは、来館者に希望があれば説明員がわかりやすく当ジオパークの特徴と見どころを解説しています。



団体 申し込み

学校教育や生涯学習の団体が多数来館 実験や体験学習で、わかりやすいのが魅力

学校教育を目的とした学校の来館が年間 20 校以上、また生涯学習を目的とした団体が多数来館しています。学校教育では小学校から大学まで様々な団体が来館していますが、特に多いのが理科「土地のつくりと変化」を目的とした小学校 6 年生の団体です。そのほか、社会「地域の自然を生かした人々の歴史」、総合的な学習(防災学習「地域の地震の歴史と自然災害から命を守るには」、地域活性化「地域の大地や歴史を活用した地域興し」、環境学習「海岸のプラスチックごみ」など)。また、学習においては、理解しやすいよう様々な実験や体験学習を用意しています。最近では学校からの実験や体験学習の要望も増えてきました。生涯学習の団体では高齢者の団体が多く、中には全員が 80 歳以上という意欲溢れる団体も来館しています。



自由研究

夏休み・冬休みに、子どもたちの自由研究を応援 文部科学大臣賞を受賞した小学生も

夏休み・冬休み期間には、多くの子どもたちがジオパークを生かした自由研究を目的に訪れています。それらの研究を学習センターでは応援しています。子どもたちの中には、ジオパーク学習センターで学んだことを基に作文を書いて文部科学大臣賞を受賞した人もいます。(写真は、自由研究に役立つ「ジオパーク冬休みわくわく教室」の様子)



第 2 展示室

脇本城跡展示 戦国時代の武将・安東氏の居城に触れる

全国から山城ファンが来館しています。ジオパーク学習センターに隣接して、国指定・脇本城跡の展示をしています。様々な展示物から当時の様子が浮かび上がってきます。

